

別府市告示第 86 号

行旅病人及行旅死亡人取扱法第 9 条の規定に基づき、氏名住所不詳の行旅死亡人について、次のとおり告示します。

令和 7 年 4 月 2 日

別府市長 長野 恭紘

1. 氏名・住所・本籍は不詳、性別は女性、体重約 3000 g ・身長約 50 cm、推定妊娠週数満 40 週頃の胎児、死産の時期は昭和 35 年頃
2. 氏名・住所・本籍は不詳、性別は男性、体重約 2500 g ・身長約 45 cm、推定妊娠週数満 36 週頃の胎児、死産の時期は昭和 35 年頃
3. 氏名・住所・本籍は不詳、性別は女性、体重約 1500 g ・身長約 40 cm、推定妊娠週数満 28 週頃の胎児、死産の時期は昭和 35 年頃

上記の者は、令和 6 年 4 月 12 日午前 9 時頃、大分県別府市大字鶴見 4548 独立行政法人国立病院機構西別府病院 中病棟地下 1 階 霊安室内標本室において、瓶に入りホルマリンに漬けられた状態で発見されました。

昭和 46 年 4 月に国立療養所別府荘、光の園、石垣原病院が統合し、石垣原病院の地（現在地）にて国立療養所西別府病院として発足しており、見分の結果、保管していた病院は不詳。

以上 3 件の遺体については、身元不明のため火葬に付し、現在、別府市納骨堂に安置しております。お心当たりの方は、別府市市民福祉部ひと・くらし支援課までお申し出ください。